

和の光

宝塚市立西谷中学校



かけがえのない学びの場

校長 筒井 啓介

今年の春に、宝塚自然の家のスタッフさんから「西谷中の生徒の皆さんで米作りに挑戦しませんか？」とお誘いの声をかけていただきました。奇しくも世間では米の価格上昇が叫ばれている最中です。これは、**身近な地域で米作りを通して食べ物の大切さや、農業の大切さを学ぶ絶好のチャンス**だと思いました。そこで、教職員に呼びかけを行ったところ、1年生の学年団が手を上げてくれました。（本当は2・3年生も興味を持ってくれたのですが、トライヤー・ウィークや修学旅行など学年行事の都合から断念せざるを得ませんでした）

5月に田んぼの中で泥んこ遊び（棒引きやりレーなど）をして、全身が泥まみれになる程走り回っていました。その後、地域の方に指導していただきながら苗を植え付けました。西谷中には農家の家庭の生徒もいますが、田んぼに入ってお米を育てた経験のある生徒はほとんどいないようで、貴重な経験になったと思います。

今年の夏は連日のように酷暑が続いていました。1年生が心を込めて植えた苗が無事に育ってくれるのか心配していましたが、時々田んぼを覗きにいくと、酷暑にも負けずに順調に育っていました。（見えないところでスタッフの方が手入れをしてくださったおかげです。）

稻を鳥獣から守るための案山子づくりにもチャレンジしました。個性的な案山子をつくって田んぼに立てました。その効果もあって苗は立派な稻に成長しました。10月に無事に稻刈りを終えることができ、粒搗りと脱穀作業を皆できました。

ある先生が「校長先生、1年生の米作り体験楽しそうですね。2・3年生がとても羨ましそうにしていますよ……」と話を聞かせてくれました。そこで、「1年生が育てた米を2・3年生にも食べてもらい、皆で収穫を祝ってみませんか」と先生方に呼びかけました。すると、全員の先生が賛同（大規模の学校では授業時間等の調整が難しく実現は容易ではありませんが、**柔軟な対応ができるところが西谷中の良さです。**）してくれました。また、この野外炊飯のためにスタッフや地域の方、関係団体から食材などの提供もいただきました。（たくさんの方々のご厚意によって野外炊飯が実現できたのです。）

11月21日、午前中に期末考査を終えると、待ちに待った野外炊飯です。体操服に着替えてグランドに集合し、宝塚自然の家まで徒歩で向かいました。到着して早速野外炊飯の開始です。皆で協力して釜戸に火を起こしたり、野菜を洗って切ったりと、それぞれの分担をこなしています。（マッチの使い方、包丁の使い方、味噌の溶き方、飯盒の使い方など、スタッフの説明を聞いて実際に体験することで知識が身に付いたと思います。）

皆で協力して作った献立は「さつま芋の炊き込みご飯」「味噌汁」です。この他「手羽先」「焼き芋」「大根菜の漬物」も差し入れていただくなどとても豪華な昼食となりました。皆で揃って「いただきます」の挨拶をして、談笑しながら美味しくいただきました。

この野外炊飯活動を通して、子どもたちは「農業や食物の大切さ」「地域や仲間との絆」などかけがえのない事をたくさん学び、ふるさと西谷に誇りを持てたと確信しています。このような貴重な学びの場を提供いただきました「宝塚自然の家」の皆さん、関係団体の皆さんに心からお礼を申し上げます。

■野外炊飯活動を行いました その2

1年生が宝塚自然の家で取り組んできた「お米づくり100人プロジェクト」で無事にお米を収穫することができました。今回は、そのお米を全校生徒で味わうために野外炊飯活動を行いました。その様子を写真で紹介させていただきます。（11月21日）



美味しいさつま芋の香りがします



美味しいそうな味噌汁もできました

みんなで食べると美味しいね！！



みんなで作った料理です

お代わりのじゃんけんです



全学年で交流しながら頂きます

手羽先の煮込みも頂きました（じゃんけんで勝ったらお代わりできます）

